

市民と市長の意見交換会<両津地区>質疑要旨

日時：令和5年4月22日（土）17:20~18:20 会場：鷺崎ふれあいセンター

参加人数：23名

1. 市政について

市長より説明	(説明内容) ○道路の改修について ○移住定住の問題について ○両津港の改修について ○防災について ○コロナの状況について ○両津病院の移転について ○人口減少の問題について ○外出支援について ○脱炭素エネルギーについて
--------	---

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
鷺崎	・ 昨年の4月から離島留学で住んでいるが小学生の子供が来年1人になる可能性がある。それは仕方がないが、例えば両津の市街地の子供たちとの交流ができるようなプログラムがあると有難いが、それは可能か。子供から「1人が嫌だ。帰りたい。」と言われたら返す言葉がないのでどうにかしてほしい。	・ これからの小規模校については学校連携という形で交流が必要だと協議している。来年1人になる事については教育委員会には話をしておく。向こうの学校に行ったりWebで話ができたり授業に参加出来たりできないか話してみる。	学校教育課 (両津支所) 総務課
鷺崎	・ 光ケーブルに加入ができるようにしてほしい。	・ 鷺崎に光回線が来ていないから加入できないという意味だと思うが、光ケーブルは今年の秋頃には佐渡において全線開通する予定。おそらく就任してすぐに取り掛かり、去年から工事に入っている。	
見立	・ 大雪の際、通常の道路が通行止めになったがあの時の迂回路をどうにかできないか。急遽、それ用のバスを用意してもらったが、バスの要望は何件くらいあって何人くらいの利用者がいたのか教えてほしい。 ・ その人数がそれなりの成果といえるのかどうか。もっと有効な方法がなかったのか。 ・ 市長が自家用車で来ていただいたが、来ていただくだけでありがたい。ただ、倒木の被害がひどかったのだがそれを支援する補助金はないのか。	12/21~1/18の間、迂回路をバス運行した。延べ人数47名の利用。平日の両津行きは2~3名が利用。鷺崎、願、真更川、藻浦の方の利用があった。この中には高校生もいた。 新潟交通は運航基準に従ってやっているのだから困ったからといって走らせるわけにはいかない。市としては新潟交通のバスの順路まで繋ぐ対応をせざるを得ない。 ・ 倒木は場所による。農道、林道は市役所でやる。ただ個人の土地の場合、補助する制度がない。なので苦肉の策で集落コミュニティ交付金を用意した。	両津支所 (地域づくり課)
鷺崎	・ 北小浦の天然記念物の木がずいぶん傷んでおり、道路の通行に支障が出ている。しかし天然記念物のため切るわけにもいかず困っていると聞いている。救急車もうまく通れていない。市長のほうから一度、切る方向で県に要請してもらえないか。 ・ 島留学生生活支援金が1万円だが倍増してあげてほしい。	・ 状況を調査する。 ・ 離島留学の支援は全体で考えなければいけないので、この地域だけということとはできない。どれが適切なのかは考えさせてほしい。	世界遺産推進課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
鷺崎	12月の際の通行止め時に緊急車両も迂回路を通過していたが、あんな急カーブのある道だと命の危険に晒された感じがすると思う。そこで、弾野にあるヘリポートは発着の指定を受けていると聞いているが消防の判断でヘリを呼ぶことは可能なのか。	指定されている場所なら飛べると思う。弾野が指定されているかはわからないが、この前も南部に飛んだ事例もある。ただ、その場所が適切かどうかは消防庁の権限で、救急のプロの判断になる。また、そこまで運ばなければいけないので結局、救急車は必要だと思う。先日両津でもあったがヘリが必要だと判断しても所有している2機とも出払っていて救急車で向かったという事例もある。そこはケースバイケース。	両津支所 (両津消防署、佐渡市消防本部)
鷺崎	この4月から海府保育園は休園となっている。ただ、希望者がいた場合には開園してくれると聞いている。	子供の事は本当に考えなければいけない。子供を連れて移住してくれると助かる。1人や2人で保育園を残すという判断は難しい。ただし佐渡の場合は距離だとかを考えた時に仕方ないだろうと思っている。子供の為に何が良いのか地域と一緒に考えていかなければいけない。保育園があれば残してもいいと思う。	子ども若者課
鷺崎	<ul style="list-style-type: none"> ・この4月から離島留学で子供と一緒に佐渡に来た。来てみて思ったのは鷺崎で子供を連れて行くところといえば海か、ふれあいセンターくらいしかない。例えば休園中の保育園を開放や活用するという事は可能か。 ・学校の図書館は下校時刻に退出しなければいけないのは、どうにかならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任が生じるため集落の人をお願いして管理してもらっても良いが、行政の責任も問われるので、結局人件費1人分かかってしまう。それができるかという話になってくる。集落で鍵を保管して、市に管理してもらおうという方法なら不可能ではないと思う。持ち帰って議論しないと何とも言えないが、ご意見としては理解した。佐渡は天気の良い日の遊び場がないというお声を多数いただいたので佐和田の議場だった場所を学童用に整備して土日開放しているが、そこにも職員を配置している。なので管理をお願いできればもしかして可能かもしれないので、また支所長からお答えを出させていただきます。 ・学校は教育委員会の権限なので一律で決めていると思うが一応、確認する。 	子ども若者課 学校教育課
鷺崎	島内のトイレの整備をお願いしたい。真野公園のトイレも4月に行ったら閉まっていた。	公衆トイレというのは新しく作ると何億もの予算が必要。それだったら島内の閉まっている公衆トイレを開ければいいと思っていて、支所サービスセンターのトイレも公衆トイレにしたいと思っている。公衆トイレを年間開ける費用は市で持つ。そういう方向で議論している。世界遺産に向けて公衆トイレはすごく大事だと思うのでがんばっていきたい。	建設部 観光振興部
鷺崎	保育園が休園しているが、小中学校に併設できないか。	現在ゼロのところ新しい投資をするのは難しい。今あるものを維持しながら、増えたときに投資するのは考えられるが休園の状態の保育園に予算をつけるのは厳しいことはご理解いただきたい。人が入ってくれば将来的には併設も視野に入りたい。	学校教育課 子ども若者課